

プレスリリース 2026年4月20日

建翔インベストメントグループ、Periskop Partnersとの提携によりドイツ不動産投資戦略へのアクセスを拡大

建翔インベストメントグループ（以下「建翔」）は、ドイツを拠点とする不動産投資マネージャーであるPeriskop Partnersとの間で、戦略的パートナーシップを締結しました。本提携により、建翔は日本の機関投資家に対し、ドイツにおけるセクター特化型かつESG基準に準拠した不動産投資戦略へのアクセスを新たに提供します。

本パートナーシップに基づき、建翔は、シニアリビング、ロジスティクス、ライトインダストリアル、ならびに土地開発といった分野におけるPeriskopの投資戦略の紹介および展開を積極的に推進します。継続的なマーケットエンゲージメントおよび投資対話を通じて投資家クライアントに伴走し、十分な情報に基づく投資判断を支援するとともに、投資機会の拡張に貢献してまいります。

建翔インベストメントグループ創業者兼社長兼CEO Dr. Leonard Meyer zu Brickwedde（レオナルド・マイヤー・ツー・ブリックヴェデ博士）は、次のように述べています。

「Periskop Partnersとの提携は、日本の投資家に対して提供可能な高品質かつセクター特化型の不動産投資機会の幅をさらに広げるものです。当社はファンドマネージャー志向のアプローチのもと、戦略の整合性、品質、ならびに日本市場へのコミットメントが当社の基準に合致するパートナーを慎重に選定しています。本提携を通じて、明確に定義された投資機会への体系的なアクセスを提供するとともに、ドイツ市場への投資エクスポージャーの構築および運用を長期的に支援してまいります。」

Periskop Partners CEO Lars Meisinger（ラース・マイジンガー）は、次のように述べています。

「ユーロ圏、特にドイツに対する国際投資家の関心は高まっています。世界第3位の経済規模を有するドイツは、欧州大陸において最も規模が大きく流動性の高い不動産市場を提供しています。建翔インベストメントグループとの提携を通じて、日本の投資家に対し当社の戦略への効率的なアクセスを提供できること、また日本市場における強固な投資家ネットワークと現地理解を兼ね備えたパートナーと協働できることを大変嬉しく思います。」

本提携により、建翔はこれまでのコア住宅・オフィス不動産および再生可能エネルギー分野における活動を強化するとともに、従来のコア戦略を超えた選定セクターへのアクセスを拡張します。

建翔は今後も、日本の投資家に対し、ヨーロッパにおける実物資産投資機会への体系的かつサステナブルなアクセスを提供するゲートウェイとしての役割を一層強化してまいります。

>>>

建翔インベストメントグループ について

建翔インベストメントグループは、日本を拠点とし、ドイツおよびヨーロッパにおける不動産およびインフラ投資、ならびに関連するオペレーショナルパートナーシップおよび事業連携に特化したコンピテンスセンターです。

日本の機関投資家および事業会社に対し、ヨーロッパの実物資産投資および事業協働機会への、体系的かつ信頼性の高い長期的アクセスを提供することを目的としています。また、建翔は、日本の資本および事業ノウハウとヨーロッパの市場参加者を結ぶ独立した橋渡し役として機能し、品質、パートナー選定、および持続的な市場統合を重視しています。

Periskop Partnersについて

Periskop Partnersは、不動産セクターに特化した独立系投資アドバイザーです。ベルリンに本社を置き、フランクフルト、ライプツィヒ、ワルシャワ、ツークに拠点を展開しています。同社は、運用資産総額20億ユーロ超のファンドを組成・アドバイザーしており、これまでの総開発ボリュームは150億ユーロにのびます。土地開発における豊富な実績に加え、シニアリビング、ロジスティクス、開発ファイナンス分野への展開を通じて、世界の機関投資家、ファミリーオフィス、投資会社に対し高利回りソリューションを提供しています。また、将来志向の価値観を重視し、厳格なESG基準を遵守しています。

お問い合わせ先:

建翔インベストメントグループ

100-6162 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー3F

電話: +81(0)3-6205-3109

contact@ken-sho-investment.com